



# 輝き

～「Open Share そしてTeamで」～

令和4年9月30日 三木市立三木特別支援学校



## ふれあいフェスティバル2022

～「げんきいっぱい えがおいっぱい」の1日に～

明日、10月1日(土)は、「ふれあいフェスティバル2022」。  
今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を縮小しての半日実施とさせていただきますが、3年ぶりに運動場で開催できることを嬉しく思っています。

プログラムを考えるにあたって

○「全員参加」…(みんなが参加できること)

○日常の授業や生活の延長線上にあること

…(これまでやってきたことを行い、これからも続けられること)  
の2点を大事にしました。

後半のお店屋さん活動も同様です。

小学部は「フリスビー ワニワニパニック」のゲームやさん

中学部は総合学習「持続可能なものづくり」で製作したアクセサリー、雑貨のお店を開きます。

どのような活動なら、どのような道具を使ったら、どのような声かけをしたら〇〇児の「好き」や「やってみよう」につながるのか等々、保護者の皆様にもご相談させていただきながら進めてまいりました。子どもたちは元気に前向きに取り組み、当日を迎えられそうです。

短い時間ではありますが、さわやかな秋の空気の中、子どもたちと一緒に「げんきいっぱい えがおいっぱい」の半日を楽しんでいただければと思います。そして、今回の活動を通して、子どもたちがどんな力をつけていくのか、それらを次のどこにつなげていくのかを楽しみにしています。

(校長 佐野 順子)

えへん！  
くりのみ しょうへい

くりばやしに  
ねころんで  
はなうた うたったら  
しごとがえりの  
ありんこが  
「きみ かしこそうな  
あたまのかっこね」  
といった

…

ふっふっふっ  
おれ あしたから  
しゅくだいやろうと



工藤直子  
詩集「のはらうた」より

